#### 今和3年度 学力向上を図るための全体計画

八丈町立大賀郷小学校

## 関連法令等

- ○関係法規
- ○東京都教育委員会教育目標
- ○八丈町教育委員会教育目標

# 学校の教育目標

- 自ら学びよく考える子
- 豊かな心と 丈夫な体をもつ子
- 島を愛し 世界を理解する子

# 児童の実態

- ・子供らしい純朴さ、素直さがある
- ・協調性に富む・表現力が十分ではない
- ・知識・技能の習得が十分ではない
- ・自己肯定感が不足している
- ・競争意識に欠ける

# 学校経営計画

1

- Ⅰ 人権を尊重し、豊かな心を育む学校を目指す
- 2 確かな学力を身に付ける学校を目指す
- 3 健康で活力に満ちた学校を目指す
- 4 地域とともに歩む学校を目指す

## 各教科の指導の重点

- ・児童の実態把握と個に応じた指導の
- ·習熟度別·課題別少人数学習、地域 人材活用等指導体制の工夫
- ・「読み」「書き」「計算」の系統的な指 導の継続
- ・言語環境の充実

# 道徳教育の指導の重点

- ・思いやりの心と規範意識の育成
- ・児童実態に即した指導計画改善
- ·道德授業地区公開講座

# 本校における『確かな学力』

学習意欲を基盤として、自ら課題意識をもって学ぶ学習態度の育 成と知識・技能の習得及び知識・技能を活用して課題を解決するた めに必要な思考力、判断力、表現力等を育てる。

○やりぬく意欲を高めるために目的意識をもたせる。

児童自身が目的をもって、それに向かって粘り強く実践するように 支援し、意欲付けを図る。

○実践の過程を大切にする。

実践させて見守り、その過程で何が遂行を妨げているかを見付 け、一人一人に助言し、努力を認め励まし自主的態度を育てる。

○自己評価をさせる。

自分を振り返る評価の場面を適切に設定し、活動に生かすことで 最後までやり通す意欲を育てる。

○知識・技能を習得する。

手本を示しよく理解させ、実践の中で励ますとともに子供に合っ た指導を繰り返し、知識・技能を積み上げる。

○知識・技能を活用する力を育てる。

問題解決的な学習過程を通し、言語活動を重視しながら、発言 発表の機会や場を意図的、計画的に設け指導の工夫を図る。

#### 総合的な学習の時間の指導の重点

- ・自ら課題を見付け探求し、まとめていく 力の育成を目指す
- ・島言葉や八丈太鼓など島の文化に触 れることができる体験活動
- ・人との関わり(福祉施設・他校など)を 通した生き方の振り返り

#### 生活指導・進路指導の重点

- ·挨拶指導の推進
- ・言葉遣いの指導の充実
- ・夢や希望を育む指導の推進

# 特別活動の指導の重点

- ・児童が主体的に企画運営できる活動の設定と異学年交流活動 (縦割り班での活動)の充実
- ・話合い活動(学級会)を系統的な指導と活性化

# 特色ある教育活動の指導の重点

- ・八丈の自然・文化(米作り体験・遠足等)との触れ合い活動
- ・ノーチャイムによる時間を意識した行動

# 指導内容・指導方法の工夫

- ○学年別授業改善プランの作成 と実施
- ○各教科にいて観察、実験、 レポートの作成、論述の活 動等を推進する
- ○国語
- ・『声のものさし』の活用(低)
- ○算数
- ・問題解決的な学習の推進
- ・レディネステスト等による単元毎 の習熟度別編成の実施
- ·計算の数値目標の設定

# 教育課程編成上の工夫

- ○年間時数確保 ·年間指導計画作成
- ・週案等による時数管理
- ・会議の精選
- ○基礎学力の定着
- ・国語・算数において、漢字・計算 の習熟の時間を設ける。
- ○大賀郷タイム
- ・基礎学力の定着のために、繰り 返し行う必要のある学習を週に2 日、朝学習を行う。また、学年の実 態に応じて、学級学習の時間を1 日、朝学習に設定する。(全児童 対象)
- ○読書活動
- ・月1回、15分間の読み聞かせの 時間を設定する。

# 校内における研究の工夫

- ○研究テーマ
- 「確かな学力を身に付け、主体的 に学ぶ児童の育成」
- ○情報の共有
- ○学力調査や学校生活アンケー トによる児童理解
- ○小中一貫コーナーの設置 両校の児童生徒の様子や学習
- の取組状況などを職員室前の 廊下に掲示

# 評価の工夫

- ○教師による評価の工夫 ・各教科の単元毎の到達度評価
- の作成と実施(指導と評価の一 体化を目指す)
- ・日常の授業における評価の推 進(ノート等チェック)
- ○児童による評価の工夫
- ・自己評価活動の推進 振り返りを大切にし、次の学
- 習への意欲付けや新しい課題 発見の手立てとする。
- ・相互評価活動の推進 ○学校評価の推進
- ・自己点検・自己評価活動により 教育課程の確実な実施と改善を
- ・地域・保護者による評価を実
- ・評価項目・評価方法を検討。

# 家庭や地域社会との連携

て、基本的な生活習慣と家庭 学習習慣の形成を図る。

○学校公開及び保護者会を通し

- ○地域に根ざした教育を目指し、 地域ボランティアとの協力・連 携を図る。
  - 読み聞かせボランティア等
- ○学校便りの発行と地域への配 布を行う。
- ○ホームページで、学校の様子 を積極的に地域へ公開する。
- ○家庭学習習慣の確立
- (宿題の提出と確認)
- ○生活リズムの向上
- (生活学習がんばりカード)
- ○学校関係者評価を生かし、家 庭・地域との一層の連携と協
  - 働を図る。